

「全鍍連」 2025年 8月号 理事長のよこがお

石川県鍍金工業組合 理事長 浅下 秀昭（浅下鍍金(株) 代表取締役）

「理事長就任のご挨拶」



この度石川県鍍金工業組合の理事長を仰せつかりました浅下です。若輩者ですが組合の発展に全力で取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

石川県の産業は自動車部品、建設機械、工作機械、繊維機械、電子部品をはじめ多種多様な製造業が盛んな地域です。それを下支えする我々めっき專業社は電気めっき・無電解めっきやアルマイトなどを行い近年では EV 用のバッテリー用製造装置の部品のめっきを行っている同業者もいます。時代に合わせてめっき・表面処理の種類を増やして顧客の要望に応え各事業を発展させてきました。

しかし失われた30年と言われますがその間にはバブル崩壊、ITバブル崩壊、リーマンショック、東日本大震災、新型コロナウイルスの流行、また当石川県においては2024年1月1日に発生した能登半島地震など100年に一度しか起こらないことが頻繁に起こっています。当石川県鍍金工業組合の組合数も私が自社に入社した30年前は20社近くありましたが、現在では廃業やM&Aなどで12社と40%も減り全国でも組合員数が少数の組合となっております。また、目下トランプ関税で日本の製造業のこれからがどうなっていくか予想もつきません。働き方改革での残業規制に始まり人手不足や年々厳しくなる環境法規制など我々めっき專業社及び製造業の事業継続のハードルが年々高くなっております。

そんな中、数年前に当組合に青年部が発足いたしました。当初は12社しかない中うまく運営出来るか不安視された意見もありましたがメンバーのチームワークと若い力で現在では組合事業の一部を青年部が企画し、組合活動に多く寄与しています。

今年3月には当石川県金沢市で全鍍連青年部会第一回全国大会が開催され全国から100名以上の方々が来県、多くの意見交換がなされ盛大な会議となりました。全国の若手の経営者及び将来を見据えて経営されている経営者達の熱い意気込みを感じました。

最後になりますが、石川県鍍金工業組合の発展と全鍍連への運営協力を任期の間全力で取り組んでまいります所存です。何卒宜しくお願い致します。